

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地に戻る** をタッチする

お知らせ

- F-3手順 **2** で自動再探索を **する** に設定している場合、ルート案内中に探索条件を変更し、**戻る** または **現在地に戻る** をタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。
- 探索条件で **一般優先** または **距離優先** を選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をすることもあります。また、**有料優先** を選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をしないこともあります。**道幅優先** を選択している場合でも細い道路を探索することもあります。
- **複数** を選択した場合、ルート探索すると、全ルートが表示されます。全ルート画面には、**自動**、**有料優先**、**一般優先**、**距離優先**、**道幅優先** が表示されるため、ルートを確認後、お好みのルートを選択してください。【**替**】「**複数ルート探索をする**」D-8
- ルート編集画面／目的地画面で経由地を追加した場合は複数探索はできません。
- **複数**、**自動**、**有料優先**、**一般優先**、**距離優先**、**道幅優先** は、いずれか1つ設定できます。
- F-3手順 **2** で全ルートを表示 **する** にした場合、ルート探索終了後全ルートを表示し、全ルートを表示 **しない** にした場合、ルート探索終了後全ルートは表示しません。
- フェリーを優先 **する** 設定にしても、出発地と目的地の間にフェリー航路が存在しない(地図データ上にない)場合は、陸路になります。
- フェリーを優先する設定にしても、フェリー航路を使用しない場合もあります。
- ここで設定した探索条件は、次に行うルート案内探索の探索条件になります。

料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引きには対応していません。
- 料金表示の対象道路は、都市間高速(東名高速、中央高速、名神高速など)、都市内高速(阪神高速、名古屋高速、首都高速など)および、一般有料道路がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、一部の一般有料道路には対応していません。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 首都高速などの単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行っても、料金は表示されません。
- 料金区間が2つ以上にまたがるとき、1つ目の料金所を通過して次の料金区間を走行していても、料金表示は2つの区間の合計値のままです。1つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行うと、2つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行った場合は、料金は表示されず「---円」になります。(ルートの出発地／目的地が高速(有料)道路上にあるときも、料金の表示は「---円」になります。)
- “〇〇IC”を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路／有料道路の料金は表示されません(---円)場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索(手動・自動)を再度行わない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- ルート情報画面、全ルート表示画面では出発地点から目的地地点までのルートに含まれる有料道路の合計料金を表示します。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「---円」または実際の料金と異なる場合があります。